

令和3年3月21日 日曜日 読売新聞 朝刊

もてなしに使う桜の枝を切る子どもたち（20日、札幌市中央区で）



五輪桜に願いを 雪山で枝保管

東京五輪で、札幌市内で開催されるマラソン・競歩の選手を満開の桜でもてなそうと計画する「北海道雪氷桜プロジェクト」実行委員会は20日、北海道神宮（札幌市中央区）で桜の枝切り作業を行った。

作業には子どもら約20人が参加。剪定された桜の枝を、枝切りバサミで1分ほどの長さへと切り分けた。参加した子どもたちは、それぞれ「たくさん枝が集まった」「きれいに咲くといいな」などと笑顔を見せていた。

枝は沼田町にある雪山で保管され、五輪の直前に取り出して開花させる。沿道の観客などに配って、出場

選手をもてなす計画だ。

実行委の越智文雄委員長（63）は「新型コロナウイルスが落ち着き、五輪が無事開催されるようにと、桜の枝に願いを込めたい」と話していた。